

水本デマ運動の路線化は動労の死だ!

「水本事件の真相を究明する会」から脱会し、 動労のセク卜的引きまわしに断を下そう!

オ32回地本臨時大会確認スローガン

わがもの顔にのさばる「水本」運動

二月一日、本部組織部は、またもや「水本集
会」動員を指示する一方、明治公園で開かれる総
評全国統一行動中央集会のとりくみを放棄し、動
員指示さえ出さない反面で千葉地本に対しては、
水本集会に参加させるために「第三二回臨時地本
大会の開催を禁止する」という暴論をぶつけてき
た。

われわれは、怒りをもってこの「水本」一辺倒
に偏した本部組織部の指導を弾劾すると共に、労
働運動の原則・規約すらも踏みじって恥じない
「水本」運動なるものの本質を見ぬき、今こそ徹
底的に粉碎・一掃していかねばならない。動
労は、ここまで変質したのか——これが、今日、
全国四万七千組合員のいつわらざる胸中であるか
らだ。

たび重なる「全力動員」と幾千万の「財源投入」!

「これが」単なる賛助団体」としてのかかわりか?!
ほんの一年半前、本部は「多くの文化人の呼び
かけもあったので」と雲をつかむような理由をも
って「単なる賛助団体」として「真相を究明する
会」に係わることを突然、こっそりと動労にもち
こむやいなや、機関の討議もなにもないままに独
断専行をもって次々と拡大、たび重なる全国全力
動員(往復特急寝台券つき!!)を行い、その費用
すでに数千万円とも言われる組合費をおしみなく
投入しての、まさに異常なとりくみを続け、今日
では集会の動員の大半を動労が担う(あとは革マ
ル派の動員者のみ)中心的組織にまでなってい
ている。

醜悪なデマ運動で動労を

蹂りんさせてはならない

言うにこと欠いてOIAまで引っぱり出してき
ての奇怪至極・小供だましにもならない「死体ス
リカエ」物語り—こんな漫画的な大ウソを信じて
いる者など誰一人としていないことは今や明らか
ではないか。

一月の「全国組織部長会議」の資料にも、文化
人・総評系労組から総スカンを喰らい、結局革マ
ル派だけがかつぎまわっている運動の実体があり
ありと語られているではないか。

これほど誰からも本性を見破られ、孤立し、齒

型と指紋の一致という証拠をつきつけられてもな
お珍奇な「死体スリカエ」物語りをデッチ上げて
はばかりぬ革マル派、それと同一の立場をかっぎ
まわり、疑問や批判を出す者を権力の手先よばわ
りしどう喝してまわって恥じない一部反動分子の
体質は、もはや本来の戦闘的動労運動を変質させ、
蹂りんするもの以外のなにものでもない。

水本デマ運動の「基本路線化」は 動労の死だ!

ところが、過日の全国組織部長会議方針書によ
れば八〇年代を冬の時代と手前勝手に規定し、八
〇年代動労運動の基本路線「反謀略水本運動であ
るといふ所までもち上げると共に水本に反対し三
里塚を闘う千葉地本を「敵対物」であるとの方針
を展開するまでに至った。

一年前の「二・一九水本集会」に際し、われわ
れが「解明要求」(いまだ一度も回答されもしな
い!!)を出し、「水本」↓「謀略」↓東大生・茨
城大生・大阪総評オルグなど革マル派活動家への
内ゲバ事件の一方の側に動労をひきづり込むとい
う全くのセク卜的引きまわし路線を拒否し、警鐘
乱打した問題が今や「動労の基本路線だ」として
全面開花させられようとしているのだ。

水本デマ運動を拒否せよ! 動労の

戦闘的再生をかけ、全国で総決起せよ!

われわれは動労を一党一派の私物として引きま
わす(一・三一水上)指令なき集団「集結事件を
見よ!!)このような方針を断じて許さない!
われわれは、二月一日「水本」をきっぱりと
拒否して、動労の戦闘的再生のための闘いへ歴史
的第一步を踏み出した。

「水本」拒否—「究明する会」脱会を!
全国四万七千は自らの生活と権利を守り、動労
の闘う伝統と団結を守りぬぐために今こそ決起し
よう!

今週の防犯担当

2月	曜日	担当支部
15	木	幕張・千転
16	金	蘇我・館山
17	土	勝浦・佐倉
18	日	成田・銚子
19	月	新堀・津田
20	火	幕張・千転
21	水	梗津・館山